

令和4年度第2回石川県公立大学法人評価委員会 議事概要

- 1 日 時 令和4年8月19日（金）13：30～15：30
- 2 場 所 行政庁舎11階1106会議室
- 3 出席委員

氏 名	役 職 等	備 考
林 勇二郎	元金沢大学学長 公立大学法人 公立小松大学 顧問	委員長
鶴山 庄市	一般社団法人 金沢経済同友会 副代表幹事	
小山 善子	金城大学医療健康学部客員教授	
北川 義信	金沢商工会議所副会頭	
中元 文徳	公認会計士	

4 議 事

- (1) 石川県公立大学法人令和3年度業務実績評価
- (2) 第2期中期目標の期間の終了時の検討について
- (3) 第3期中期目標の基本的な考え方・方向性について

5 会議の概要

司会が開会を宣言し、石川県総務課長より開会の挨拶

司会より、林委員長に議事の進行を依頼し、以後、委員長が議事を進行

議事（1）について

委員長及び事務局が作成した「評価結果案」について、事務局から説明を実施。各委員からの意見・質問も踏まえて審議し、評価委員会として、「評価結果案」を「評価結果」とすることです承。

議事（２）について

事務局が整理した、第２期中期目標期間（H29～R4年度）における「評価結果の概要」及び「業務実績・課題」のもと、評価委員会として、石川県公立大学法人の業務を継続させる必要性・組織の在り方について、

「必要性については、引き続き設立団体である県と連携のもと、法人に業務を継続させることが妥当であり、組織の在り方についても、法人内で業務の改善や効率化が進んでいると判断される」

とした。

議事（３）について

「第３期中期目標策定に向けての方向性」について、事務局から「両大学・法人が検討すべき主な課題」として、

「教育」「研究・地域貢献」「グローバル化」「法人運営」の大きく４つの項目を、「大学を取り巻く社会情勢等」として、

「人口減少」「デジタル技術」「地方創生」「研究倫理」の大きく４つの項目を、評価委員会へ提示した。

その上で、第３期中期目標では、

「第２期の方針を継承しつつ、２大学の課題や社会情勢を鑑みて、一層人材育成・地域貢献を推進し、地域にとって魅力ある大学となることを目指す」旨を主な方針とした。

これに対し、評価委員会から、第３期中期目標で考慮すべきとして、下記事項について中期目標内に盛り込むべきとの意見があった。

【県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標】

- ・ 少子高齢化や with/post コロナ、様々な看護ニーズへの対応
- ・ ウェルビーイングの実現に向けた教育研究活動

【県立大学の教育研究等の質の向上に関する目標】

- ・ 地球温暖化に伴う生物資源と環境の関わり等、SDGsの達成に向けた教育研究活動

- ・ ウェルビーイングの実現に向けた教育研究活動

【業務運営の改善・効率化に関する目標】

- ・ リモートを活用した、働き方改革に繋がる業務の推進

【その他業務運営に関する目標】

- ・ 大学のガバナンスの充実
- ・ 科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（E L S I）への対応

（閉会）